



TATSUTA
CORPORATE PROFILE

伝えたい、送りたい、目指したい、未来へ

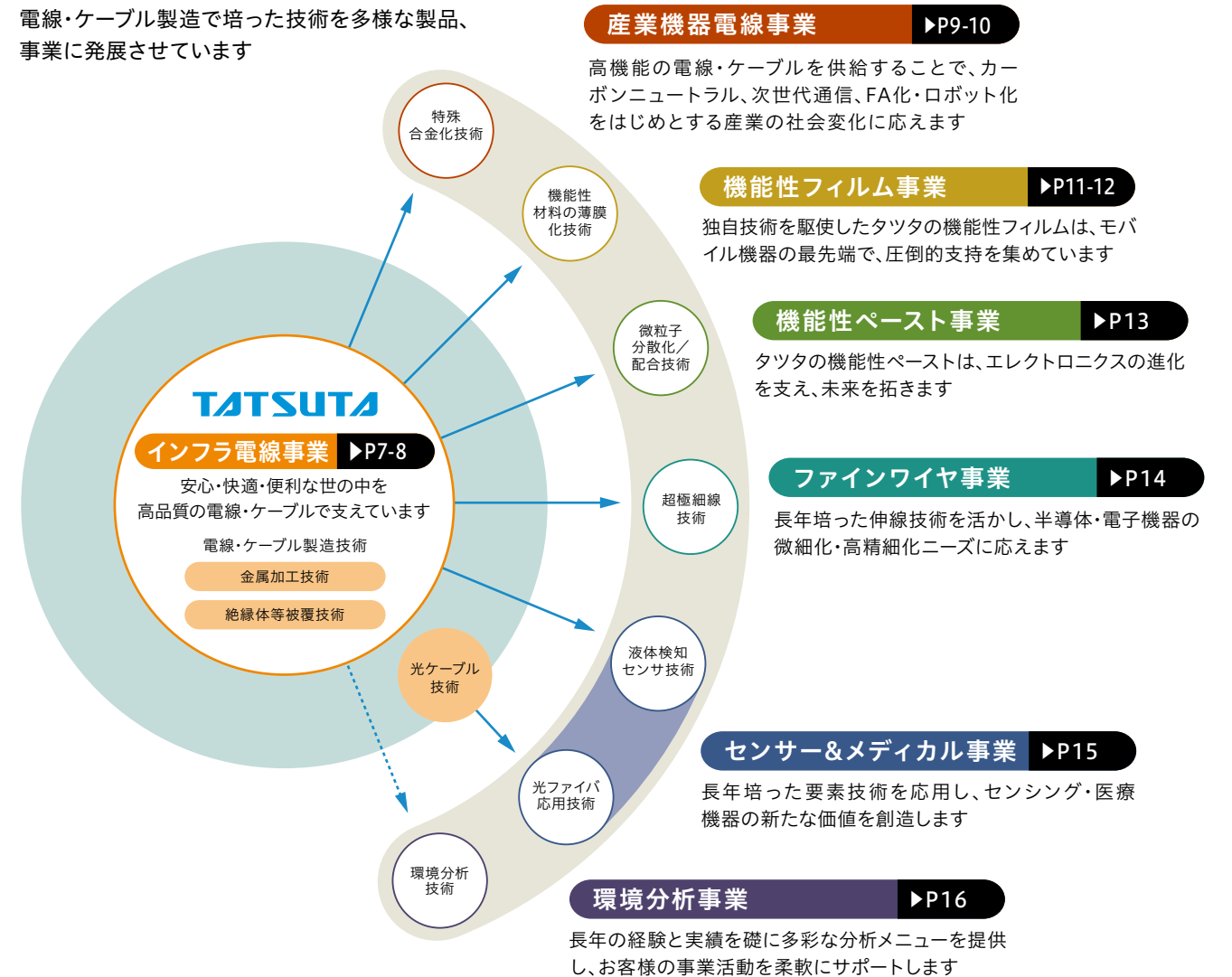
伝えたい、送りたい、 目指したい、未来へ

独創の技術でインフラを支え、最先端を創る、タツタ電線グループ

当社は、電線・ケーブル製造で培った独自技術を応用・高度化させ、
エレクトロニクスの進展といった社会的要請に応えるべく、新たな事業領域を開拓してきました。
数多くの独創的な先端領域製品のトップシェアサプライヤーとなり、
社会に豊かな未来をもたらす事業を今後も展開してまいります。

タツタ電線の事業領域

電線・ケーブル製造で培った技術を多様な製品、
事業に発展させています



伝えたい、送りたい、目指したい、未来へ

当社は、生活に不可欠な電力を供給する電線やコミュニケーションに必要な通信用ケーブル等のインフラ向け電線を祖業としつつ、そこで培った導電性金属・非導電性樹脂・光ファイバ等の加工技術を応用し、産業用ロボット等に使用される産業機器用電線、電磁波シールドフィルム・銅ペースト・ボンディングワイヤ等の電子材料、医療用検査・治療機器等に用いる医療機器部材へと事業領域を拡大してまいりました。

社会に役立つ製品の提供を通じて社会の持続的成長に貢献することが当社の事業の起点であり、社会やお客様のニーズを最優先する先端技術・製品開発志向の文化は、連続と受け継がれてきた当社のDNAでもあります。

当社は、今後ますます社会的ニーズが増加する再生可能エネルギー、次世代通信、IoT、ロボット、車載機器や医療機器等を重点分野として、先端的技術を持つスタートアップ企業等とのコラボレーションも行いつつ事業展開を進めています。

また、気候変動に対する企業の責任を果たすべく、事業活動におけるあらゆる段階において省資源・省エネルギー・リサイクル活動を推進するとともに、再生可能エネルギー由来電力への切替や太陽光発電装置の利用拡大による創エネルギーの推進により、環境負荷を低減します。

当社は1947年の創業以来、事業変革を行いつつ成長してまいりました。今後も新たな分野へ積極的にチャレンジし、変革を続け企業価値の向上に努めてまいります。

代表取締役 社長執行役員 **山田 宏也**



経営理念

電線・ケーブル事業及び電子材料事業をコア事業とし、次代を担う事業の開発にも継続的かつ積極的に取り組み、活力・スピード感に溢れ、公正かつ透明性の高い連結経営を推進することにより、持続的に成長し、中長期的な企業価値を向上させるとともに、地球環境問題に配慮しつつ、顧客ニーズにマッチした特長ある商品・サービスを提供することにより、持続的な社会の発展に貢献する。

2025長期ビジョン

定性的な目指す姿

電線・電子材料関連のフロンティアを開拓し、ニッチトップのサプライヤーとなり、独創的な先端部品・素材を供給する。

定量的な目指す姿

高い収益率を維持しつつ、現状の1桁上の規模(2025年度売上高1,000億円、営業利益100億円)を併せ持つ企業集団となる。

品質・環境方針

1. 経営理念を達成するために企業行動規範に則り、事業プロセスの改善、製品及びサービスの向上、環境保全の推進に対して継続的かつ適切に取り組みます。
2. ISO規格要求事項に基づいた品質・環境マネジメントシステムを構築、運用することで、適用される法令や顧客要求事項を守ります。
3. 当社は、取り組む必要のあるリスクを抽出し、それらに対応することで、品質向上、汚染の予防、環境保護に取り組みます。
4. 品質・環境マネジメントシステムを維持し、そのパフォーマンスを向上させるために、PDCAのサイクルにより継続的改善を進めます。

要素技術を多彩に展開

電線・電子材料関連のフロンティアを開拓するタツタ電線グループ



電線・ケーブル製造技術

創業以来、電線の一貫生産体制を持つメーカーとして、導体となる金属の加工技術や絶縁体・シースに使用される様々な被覆材料の開発技術を深化。



インフラ向け電線



低摩擦ケーブル

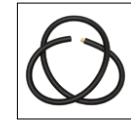


バーコード印字ケーブル



特殊合金化技術

ハードな使用環境でも切れない高耐久性を発揮する特殊合金や、柔軟性・耐久性に優れた被覆材料を開発。また、機器に応じたケーブル端末の成型加工やコネクタの取り付け等の端末加工技術も保持。



かるまげ®



ケーブル端末加工

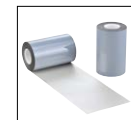


高張力合金



機能性材料の薄膜化技術(フィルム)

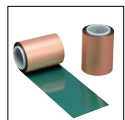
樹脂、金属フィラー、配合、フィルム化等の技術を複合させ、わずか数μmの厚さに多数の機能を集約。圧倒的な市場実績を保持。



電磁波シールドフィルム



導電性ボンディングフィルム



グラウンド引き出しフィルム

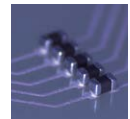


微粒子分散化/配合技術(機能性ペースト)

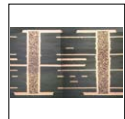
電線づくりで培ったポリマー配合技術と各種金属の融合による独自の機能性ペースト。環境に優しいプリントドエレクトロニクスの新市場を開拓。



電磁波シールド用ペースト



部品実装用ペースト

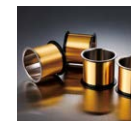


ピアフィルムペースト

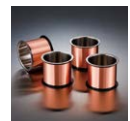


超極細線技術(ボンディングワイヤ)

銅の伸線で培った超極細線技術と合金化技術により、金線・銀線・銅線のあらゆる品種のワイヤを実現。用途に合わせてカスタマイズも可能。



Auワイヤ



Cuワイヤ



Agワイヤ



液体検知センサ技術(センサ関連)

編組加工技術を用いて高信頼性の液体検知センサを開発。重要な資産を水の脅威から守ります。要素技術を活用したセンサ開発により、サーバー機への内蔵等新たな分野に進出。



耐薬液難燃センサ



難燃センサ



シートセンサ



光ファイバ応用技術(フォトエレクトロニクス)

光ファイバデバイスに関する豊富な知識と経験を活かし、日々進化する医療・計測分野に貢献。光ファイバデバイス製造技術と測定技術により、お客様の要求に合わせてカスタマイズ。



光ファイバカプラ



光ファイバモジュール



光ファイバ干渉計モジュール



環境分析技術(株)タツタ環境分析センター)

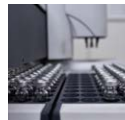
水質・大気・土壌分析等の様々な分析技術を蓄積、さらに分析の迅速化、高精度化へ技術拡大。



環境分析



材料・製品分析



極微量分析



インフラ電線事業

長年培った技術をもとに、発電所やプラントで使用されるインフラ向けの電線・ケーブルを製造し、電力の安定供給に貢献。顧客ニーズに応じて、アルミ電線も供給しています。



p7-8

産業機器電線事業

鉄道やFA・ロボット、音響や放送等…ありとあらゆる産業機器に対応するオリジナル製品の開発に注力。現場のニーズに総合力でお応えします。



p9-10

機能性フィルム事業

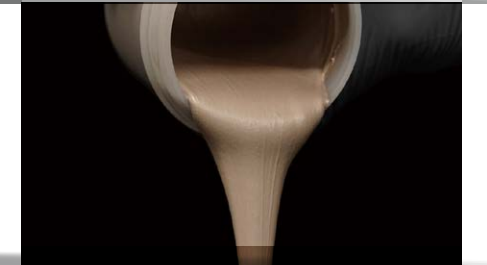
高速伝送が進む携帯端末市場に対応した、電磁波シールドフィルムの幅広いラインアップ、他社に真似できないクイックデリバリー体制で揺るぎない信頼を獲得しています。



p11-12

機能性ペースト事業

独自の分散化・配合技術で、新たな特性と機能を付加したペーストを開発し、電子材料の高密度・高機能化に貢献。半導体積層や電磁波シールド用途等新分野の市場を開拓し、エレクトロニクスの進化を支えます。



p13

ファインワイヤ事業

今後ますます多様化し、細分化が進むと思われるボンディングワイヤ市場。そのニーズに応え、多品種の超極細線を厳しい品質管理下で量産。あらゆる顧客への対応力により、市場での存在感を発揮し続けます。



p14

センサー&メディカル事業

光ファイバ・導電材・樹脂に関する要素技術を用いたセンシング技術、医療機器部材製品で安心安全な未来を創造します。



p15

環境分析事業

環境中、製品・材料中の有害物質等の分析から汚染調査・浄化、環境改善支援に至るまで、幅広いサービスで環境分析事業を展開しています。



p16

安心・快適・便利な世の中を
高品質の電線・ケーブルで支えています。

インフラ電線事業

電線・ケーブルの開発・製造販売に長年携わってきたタツタ電線には、品質に対する揺るぎない自信、確かな技術、ノウハウがあります。より安全に、より確実に電力を供給するため、電線・ケーブルの品質・機能性を追求しています。

地球環境への配慮が求められる中、再生可能エネルギーを利用する発電所にも電線・ケーブルを供給。持続可能な社会の実現に貢献しています。また、銅架空配電線からの置き換えが進むアルミ架空配電線も製造し、お客様の要望にあった電線・ケーブルを供給しています。

施工性を向上させた低摩擦ケーブルや、被災時の早期復旧、配線作業効率化に貢献するバーコード印字ケーブル等、ニーズにお応えするオリジナル商品の開発も行っています。

安心・安全なインフラを支える品質保証体制

全ての工程異常情報を品質保証部に集約し、品質の基本となる標準を自律的に改善していく仕組みを確立し実行。これを繰り返すことで、標準の有効性確認、管理項目の見直しを行い、レベルアップを図っています。これらの活動により、各職場での標準は常に改善され、着実に品質向上につながっています。

先進機器導入による検査、データ管理

電線・ケーブル製造では、生産ラインの主要条件(温度、圧力、回転数等)をデータで管理する「操業状態の監視・管理システム」を逐次導入しており、操業状態の変化や異常発生の有無を常時監視することで、徹底した品質管理を実施しています。また、測定器を用いた人による検査に加え、自動測定器による正確な検査も実施しています。例えば、構造検査では「画像寸法測定器」を用い、出来上がったその場でスピーディーかつ、誤差の無い正確な検査を実施しています。

完成品検査

構造試験、耐電圧試験など、仕様書に基づいた検査を品質検査資格保有者が確実に実施し、品質をチェックしています。

工程管理

異常品の流出を防止するため、工程内で異常が発生した場合、品質保証部が品質確認を行うとともに、異常内容と適切な処置を記録する工程異常管理システムを運用しています。

品質改善とお客様満足(CS)の向上

お客様からのクレーム、不具合については品質保証部が中心となり、不具合の要因を徹底的に調査。真の原因を見つけ出すことで、適切な再発防止策を立案し実施しています。また、再発防止策の有効性も定期的に確認し再発を防いでいます。

社会の基盤を支える信頼の高品質製品

電線・ケーブルの専門企業として、長年にわたり信頼を積み重ね、豊かな社会のインフラづくりに貢献。厳しい品質管理のもと、電力会社の原子力発電所・火力発電所向けケーブルをはじめ、架空地中配電用ケーブル・引込用電線等を提供し、電気の安全・安心を支えています。



低摩擦性能が施工性向上に貢献

低摩擦ケーブル

敷設時の通線張力を当社従来品から最大80%削減。通線潤滑剤の省略・長スパン化・マンホールの削減も可能です。



バーコードを読み取りケーブル系統を判別

バーコード印字ケーブル

ケーブルシース表面に印字されたバーコードを読み取ることで、情報を取得。ケーブル系統を瞬時に判別できます。ケーブル被災時の早期復旧、配線作業効率化に貢献します。レンガマーク、任意の文字列を併記可。



工場・ビル・マンション等配電用ケーブル

建設用電線ケーブルのリーディングカンパニーである住電HSTケーブル株式会社に設立より参画し、西日本地域の製造及び物流拠点として社会インフラに貢献しています。

HST
住電HSTケーブル株式会社
Sumiden HST Cable, Ltd.



高機能の電線・ケーブルを供給することで、
カーボンニュートラル、次世代通信、
FA化・ロボット化をはじめとする
産業の社会変化に応えます。



産業機器電線事業

当社は社会的要求に応えながら、鉄道、建設、機械等様々な分野に電線・ケーブルを供給。さらに近年では、カーボンニュートラル、次世代通信、FA化・ロボット化等の社会変化に伴い、送配電ネットワーク整備やケーブルの高機能化が求められています。当社は、こうした産業の社会変化によって生じるお客様のニーズにお応えした電線・ケーブルを供給します。

材料開発技術により省コスト化に貢献した「ネツタフ115*」、当社独自開発の高張力合金を活かした「高耐屈曲ロボットケーブル(高力*ケーブル)」、今後自動化や省人化が期待される農業現場での使用に適した「アグリーブル*」、高品質の映像、音響を届ける「放送用ケーブル」、狭所配線のニーズに特化した「かるまげ*」等、様々な分野において時代に合わせた電気の安定供給に大きく貢献しています。

各社技術のシナジーを追求、 多様なニーズに対応

タツタ電線グループは、各社技術の組み合わせでお客様の様々なニーズに対応することが可能です。

■タツタ立井電線株式会社

耐屈曲性に優れたFA・ロボット用、高品質な映像・音声を伝達する放送用他、各種カスタムケーブルの導体設計から製品化までを一貫生産。豊富な実績で高い支持を得ています。

■中国電線工業株式会社

グローバルスタンダードの開発に注力し、世界各地で使用できる海外規格ケーブルをはじめ、使用条件が過酷な場所に最適なケーブルを蓄積した技術で開発・提供しています。

■常州拓自达恰依納電線有限公司

「日本品質を海外で」を実現すべく設立。マルチスタンダードケーブル、ロボットケーブルを現地で製造販売。端末加工も含め一括提供し、海外のお客様ニーズに対応しています。



データセンター等狭所配線に最適

■ 盤間等狭所配線 かるまげ*(KM-CC)
キュービクル周辺狭所配線等で施工性を重視した非常に曲げやすいケーブル。導体は細線構成を採用し、曲げ半径は4D(仕上がり外径の4倍以上)で盤内配線の省スペース化に寄与しています。



サイズダウンにより省コスト化に貢献

■ ネットタフ115*(S)HKIV
導体最高許容温度115°Cの機器内配線用特殊耐熱ビニル絶縁電線。敷設条件によってはサイズダウンが可能のため、省コスト化に貢献。カラーバリエーションも豊富です。



太陽光発電システム用ケーブル

■ DC1500V, PV-CQ
電気設備技術基準解釈 第46条に適合しており、ハロゲンフリーで環境配慮した製品です。豊富なバリエーションがございます(PV-CQ, CQD, CQT, CQQ)。コルゲート付きも対応可能です。

■ 600V, HCV
定格600V以下、定格温度90°Cで使用可能です。



独自の「高張力合金」を導体に採用

■ 高力*ケーブル
「高張力合金」により、耐屈曲性と強度が飛躍的に向上。FA業界を高度な技術で支えています。固定部に適した「計装ケーブル」も販売。



鮮明な映像とクリアな音声を伝達

■ 放送用ケーブル

長年蓄積した技術で、高品質な映像用ケーブルや、より明瞭な音声をお伝えする音声用ケーブルを開発。国内外の放送局・各種ホールや劇場・イベント等で使用されています。



世界各国の規格を満たすマルチなケーブル

■ マルチスタンダードケーブル

市場のグローバル化に伴い、国内規格はもとより、欧州規格、北米規格、中国規格にも適合した各種用途のケーブルを開発。高品質、高機能な製品は高い評価を得ています。



設計・製造から端末処理加工まで一貫生産

■ ケーブル端末加工

コネクタ取り付け等の端末加工や成形加工を施したケーブルを製造。現場敷設の作業短縮に貢献しています。



農業現場の声をカタチにした電線

■ アグリーブル*

「あったら便利」の声に応えた、次世代農業の自動化や省人化をサポートする製品。耐寒、耐熱、耐候性に優れ、軽量化も実現しているため敷設工事が容易で、使用場所も多彩。



※「かるまげ」、「ネツタフ115」は日本で登録されたタツタ電線株式会社の商標です。

※「高力」は、日本とその他の国で登録されたタツタ電線株式会社の商標です。※「アグリーブル」は、日本で登録された中国電線工業株式会社の商標です。



独自技術を駆使したタツタの機能性フィルムは、
モバイル機器の最先端で、
圧倒的サポートを集めています。

機能性フィルム事業

スマートフォンやタブレット端末等、電子モバイル機器の小型化・軽量化・多機能化が進み、内部回路の保護に欠かせない「ペースト技術」や「シールド技術」へのニーズが急速に高まっています。

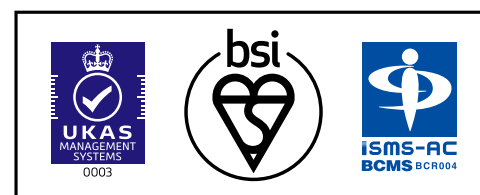
当社ではその市場ニーズをいち早くキャッチし、既存のノウハウをベースに開発した導電性ペーストのテクノロジーを応用し、電磁波シールド材のフィルム化に世界で初めて成功。事業コアとなる機能性フィルムを誕生させました。

現在、スマートフォン等に使用されるフレキシブルプリント基板(FPC)用の電磁波シールドフィルムは、世界中で活躍しています。昨今では、5G対応用高速伝送シールドフィルムも上市し、更なる高速化対応にむけて、タツタ電線の機能性フィルムは進化を続けています。



ISO22301に基づく「事業継続マネジメントシステム」の認証取得

大規模地震に代表されるような自然災害だけでなく、サプライチェーン途絶、パンデミック、サイバー攻撃も含む情報システム障害のような事象が発生した際も、事業を継続・早期復旧させ、顧客への製品・サービスの影響を最小限にとどめることを目的に、タツタ電線は2016年7月に事業継続マネジメントシステムを構築し、第三者認証を取得しております。



BCMS 653311/ISO 22301

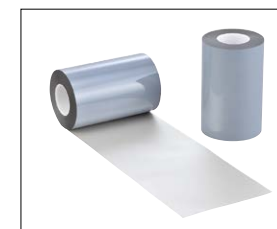
組織名	タツタ電線株式会社 システム・エレクトロニクス事業本部 機能性材料事業部および関連部門
所在地	タツタテクニカルセンター、本社、 京都工場、仙台工場
認証登録範囲	機能性フィルムの製造および販売
認証登録番号	BCMS 653311
適合規格	ISO 22301:2019 JISQ 22301:2020
初回認証登録日	2016年7月25日
更新日	2022年7月25日
認証機関	BSIグループジャパン株式会社

世界品質を誇るタツタのフィルム

機能性フィルム

電磁波ノイズによる電子機器の誤動作を防止するシールドフィルムをはじめ電子基板に機能性を付与できる様々な製品を取り揃えております。

- FPC用電磁波シールドフィルム
- FFC用電磁波シールドフィルム
- グランド引き出しフィルム



FPC用電磁波シールドフィルム

導電性接着剤/粘着剤

電氣的に接続が必要な個所に使用される接着剤/粘着剤です。電子回路のグランド強化や電極同士の接続に利用されています。

- 導電性ボンディングフィルム
- 導電性両面粘着テープ
- 電磁波シールドテープ



導電性ボンディングフィルム

機能性フィルムの月間生産能力150万m²、迅速かつ安定的な供給を実現

機能性フィルムの世界シェア維持に向けて、日本国内3拠点あわせて月産150万m²の生産能力を確保。スマートフォンを中心とした電子モバイル機器のさらなる伸長に向け、迅速かつ安定した供給体制を確保しております。

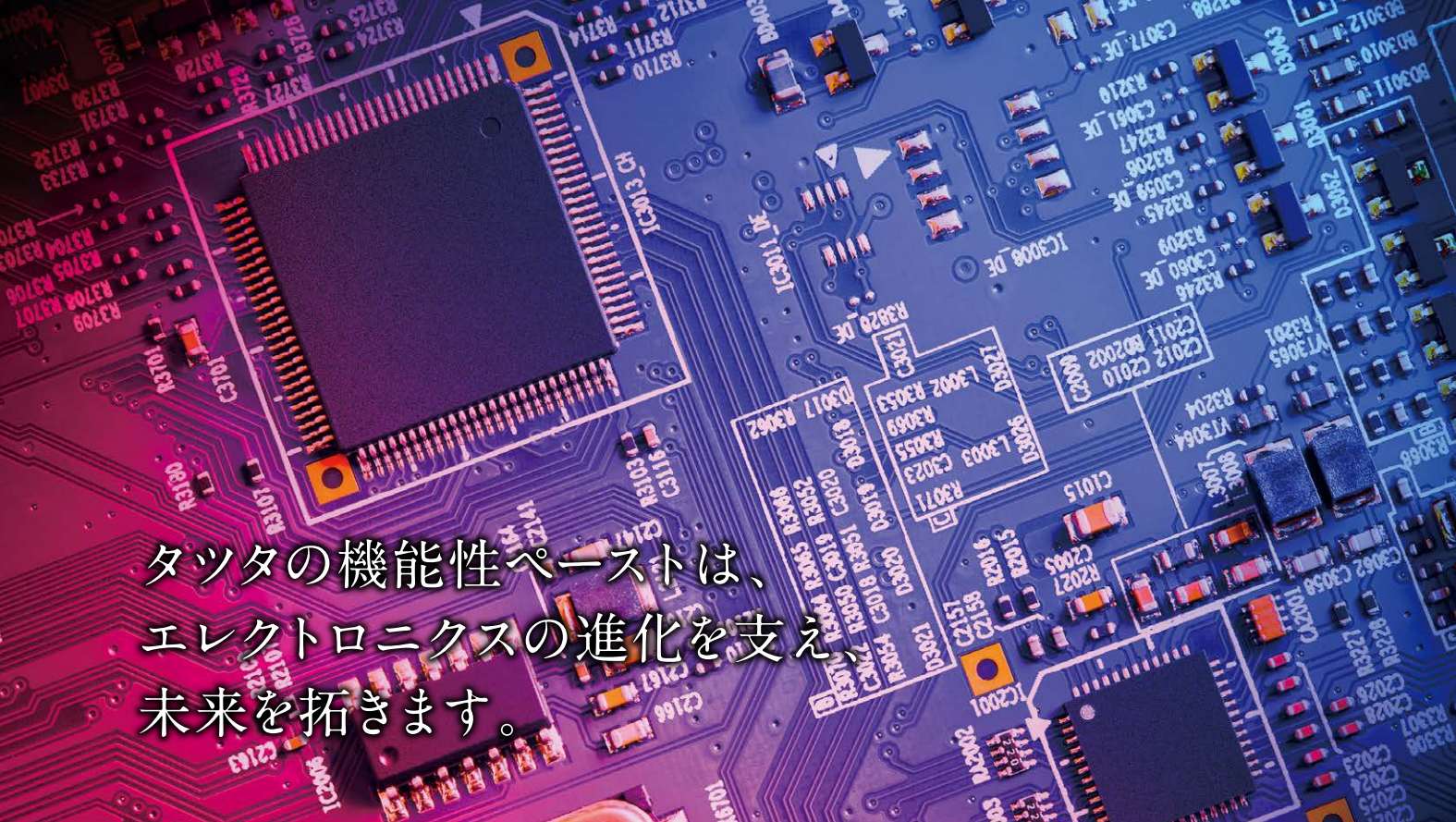


タツタテクニカルセンター「機能性フィルム工場」

独自の品質検査体制を構築。各工程で人の目と機械の目を使ってチェック、出荷時検査も行う等、厳密な品質管理を行っています。



品質検査風景



タツタの機能性ペーストは、
エレクトロニクスの進化を支え、
未来を拓きます。

機能性ペースト事業

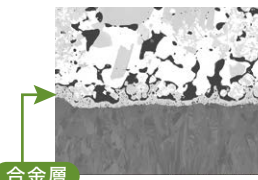
立体に電気や熱を伝える機能性ペーストは、当社の30年以上培った金属と樹脂の配合技術により生み出され、現在、ホームエレクトロニクスをはじめ、高機能化が進むモバイル機器や高信頼性を要求される自動車、航空機等の電子機器に幅広く採用されています。

タツタ電線の機能性ペーストは進化を続ける半導体の積層や電磁波シールド等、従来のスパッタ、鍍金や半田に代わる機能性材料として進化を続けています。

多種多様なペーストを開発し、ニーズに呼応

■ ピアフィルペースト(金属熔融型)

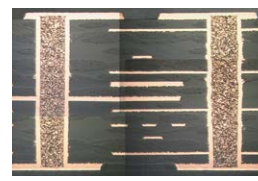
高い接続信頼性を確保した金属熔融型メタライズペースト。低融点と高融点の金属粉を樹脂に配合し、加熱により合金結合させることにより、振動や熱に耐える高信頼性を発揮。半導体や車載等の用途に広く採用されています。



合金層

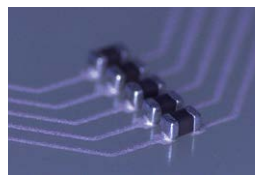
■ ピアフィルペースト(粉体接触熱硬化型)

表面処理した金属粉を樹脂に配合し、加熱による金属粉体接触により電気導電性・熱伝導性を発揮。無溶剤のため硬化後の未充填等の不具合のリスクがなく、長年にわたり民生用途や車載用途の基板ピア接続に採用されています。



■ 部品実装用ペースト

3次元部品実装を可能とする半田代替の機能性ペースト。低温で硬化が可能のためプラスチック等の低コスト基材への部品実装が可能。次工程の高温プロセスで半田のように再溶融しないため3次元実装が容易となります。



■ 配線・電極形成ペースト

低温で熱硬化可能なためプラスチック等の低耐熱基材及び高速伝送用の基材にも高密着。スクリーン印刷によりファインパターンの高密度配線形成が可能。半導体パッケージにも密着し印刷によるアンテナ形成も可能です。

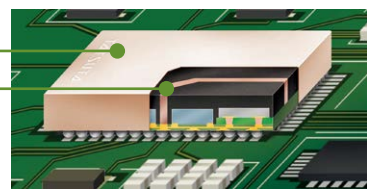


■ 半導体パッケージ電磁波シールド用ペースト

グローバルにモバイル機器に採用されている電磁波シールドフィルムと独自のペースト配合技術の組み合わせにより、スプレーまたは印刷により半導体パッケージに直接3次元に電磁波シールド膜を形成可能。高密度化する先進の半導体パッケージに最適です。

スプレーコートタイプ

スクリーン印刷タイプ



ファインワイヤ事業

長年培った伸線技術を活かし、
半導体・電子機器の
微細化・高精細化ニーズに応えます。



ボンディングワイヤは半導体パッケージを構成する重要な部材の一つとして、電子機器分野を支えています。主流素材である金の他に、コストパフォーマンスに優れた銅ワイヤも、近年、使用される機会が増えてきました。タツタ電線では、長年の電線事業で培った銅の伸線技術を活かし、信頼性の高い金、銀、銅のボンディングワイヤを提供しています。

また、広くエレクトロニクスの発展に寄与していけるよう、画期的な新製品の創出にも積極的に取り組んでいます。

極細化技術を発揮し、高性能細線を開発

■ Auワイヤ

30有余年の歴史を持つタツタの半導体用金ワイヤ。製販一体となったクイックレスポンスやきめ細やかな技術対応を徹底し、大手半導体メーカーに愛用され、多くの電子部品に搭載されています。



銀ならではの特性を活かしたボンディングワイヤ

■ Agワイヤ

近年市場が急拡大している銀ボンディングワイヤ。Auワイヤの代替にCuワイヤが使えないLEDやメモリーで急速に採用例が増えています。



金に置き換わる安価なボンディングワイヤ

■ Cuワイヤ

複雑かつ高度化する用途や海外向けに約30年にわたり銅ワイヤ技術に挑戦しています。近年、金価格の暴騰により、安価な素材として海外を中心に本格的な普及となりました。ディスクリート系の小ピン系から、多ピン系のIC用途へ銅ワイヤの採用が広がっています。



金と銅のメリットを兼ね備えたボンディングワイヤ

■ Pd-Cuワイヤ

銅ワイヤにパラジウムコートを施し、金より安価でかつ銅ワイヤよりも生産管理の幅を広げた新ボンディングワイヤです。



長年培った要素技術を応用し、
センシング・医療機器の
新たな価値を創造します。

センサー&メディカル事業

センサー事業(システム、フォト)

独自のセンシング技術、光ファイバ応用技術、樹脂配合・加工技術で、情報化社会、高齢化社会の安心な未来を創造します。

重要な設備を水漏れから守る漏水検知技術、医療・分析等で求められる高精度・高品質光ファイバ応用技術。これらセンシング技術を用いた製品は、近年、ビルや工場だけでなく、IoT、ビッグデータの活用等で注目を浴びるデータセンター等のインフラ、医療業界等様々な業界で採用。保有技術の複合化により、センシングのさらなる可能性を追求していきます。

メディカル事業

培った6つの要素技術を医療機器部材開発に応用。医療業界の発展に寄与します。

電線・ケーブル・機能性材料の開発・製造により長年培ってきた樹脂配合・加工技術、薄膜化、伸線、液体検知、合金化、光ファイバ等の要素技術を「医療機器」に応用。高齢化、在宅医療等大きな変化を迎える社会のニーズと課題に応え、医療業界の発展に寄与するユニークかつ画期的な製品を送り出していきます。

システム

漏水検知システム

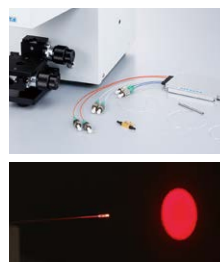
発売以来30年以上にわたり採用されているロングセラー製品。主にビル、データセンターや病院で数多く採用されています。近年、大量データ時代の本格化に伴い、サーバー機器の放熱対策として水冷化が進む中、サーバー組込用途で採用される等用途が広がっています。



フォト

光ファイバデバイスアッセンブリ/光ファイバ加工

光ファイバの応用技術による高品質の光ファイバケーブル、FBG等を製造・販売しています。これら光ファイバデバイスと光路長制御技術で設計した干渉計モジュールは、眼科医療機器や計測機器に採用され、光ファイバ加工はレーザー光を極めて均一かつ効率的に体内へアクセスする技術により、光ファイバプローブ等として医療用途に採用されています。



メディカル

医療機器部材製品

高齢化、在宅医療等により大きな変化が進む医療業界に貢献すべく製品開発を行っています。要素技術の組み合わせを強みとし、素材開発から製品開発まで対応可能です。OEMサプライヤーとして大手医療機器メーカーからの受託開発も展開しています。



長年の経験と実績を礎に
多彩な分析メニューを提供し、
お客様の事業活動を柔軟にサポートします。

環境分析事業 (株)タツタ環境分析センター

水質・大気・土壌分析、作業環境測定、騒音振動測定等
はもとより、アスベスト、ダイオキシン類、PCB等次々と顕
在化する有害物質分析やRoHS分析、製品の不具合・不良の
原因解析等、多岐にわたって展開。さらに土壌汚染調査・
浄化や作業環境の改善指導等のコンサルタントに至るま
で対応しています。



短納期分析を実現

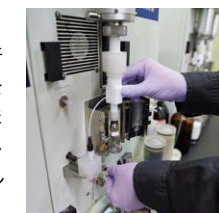
当社では、あらゆる分析サービスの短納期を追求し実現しています。結果を少しでも早く知りたい、結果を見て早く次のアクションを決定したいのご要望に応えます。
微量PCB分析:即日
ダイオキシン類分析:2営業日
土壌・産廃分析:3営業日 等



信頼性の高い分析を迅速に実施

ダイオキシン類分析

極めて毒性の強いダイオキシン類の分析には、高度な極微量分析技術と高品質を担保する精度管理システムが要求されます。当社では最新の設備と技術を導入し能力向上を図り、最短2日の分析を実現しています。



土壌汚染の調査から浄化までワンストップ対応

土壌調査・分析

土壌汚染調査とは、工場など事業所の地面に浸透した特定有害物質による土壌汚染の状況を把握することです。当社では土壌汚染対策法に基づく土壌汚染調査において地歴調査、土壌分析さらには土壌の浄化に至るまで、ワンストップで対応しています。



作業環境管理をワンストップで対応

作業環境測定

労働安全衛生法等の法規制の対象となる有害物質を製造・取り扱う屋内作業では、定期的な作業環境の測定と評価および結果に応じた適切な改善が必要とされています。当社では作業環境の評価・改善に至るまでの作業環境管理をワンストップで行います。





タツタ電線株式会社 Tatsuta Electric Wire & Cable Co., Ltd.

■ 会社概要

設立	1945(昭和20)年9月28日
本社	大阪府東大阪市岩田町2丁目3番1号
資本金	66億7,600万円
上場取引所	東京証券取引所(プライム市場)

■ 事業所

本社・大阪工場	〒578-8585 大阪府東大阪市岩田町2丁目3番1号 本社 TEL.06-6721-3331(代表) 大阪工場 TEL.06-6721-3337
タツタ テクニカルセンター	〒619-0216 京都府木津川市州見台6丁目5番1号 テクニカルセンタービル TEL.0774-66-5550 機能性フィルム工場 TEL.0774-66-5552
京都工場	〒620-0853 京都府福知山市長田野町3丁目17番地 TEL.0773-27-3331
仙台工場	〒981-3629 宮城県黒川郡大和町テクノヒルズ2番1 TEL.022-346-1126

■ 支店

東京支店	〒105-0014 東京都港区芝2丁目13番4号(住友不動産芝ビル4号館10階) TEL.03-5439-4925
------	---

■ 関係会社

中国電線工業株式会社
 タツタ立井電線株式会社
 株式会社タツタ環境分析センター
 タツタ ウェルフェアサービス株式会社
 常州拓自达怡依納電線有限公司
 上海拓自达商貿有限公司
 上海拓自达商貿有限公司 蘇州テクニカルセンター
 TATSUTA ELECTRONIC MATERIALS MALAYSIA SDN.BHD.
 Tatsuta USA, Inc.

主要拠点等



本社・大阪工場
 電力ケーブル等を生産する工場に本社機能を備えたタツタ電線の原点
 ■生産品目
 各種電線、動力・制御ケーブル、光ケーブル



タツタテクニカルセンター
 研究開発の核となる「Research Laboratory」と生産機能を備える、当社電子材料事業の中枢
 ■生産品目
 電磁波シールドフィルム、導電性ボンディングフィルム、ボンディングワイヤ



京都工場
 機器用電線・電子材料・システム製品を生産する、タツタ電線のモノづくりを支える主力工場
 ■生産品目
 電磁波シールドフィルム、導電性ボンディングフィルム、機能性ペースト、各種システム製品、光部品、医療機器部材



仙台工場
 機能性フィルムの量産体制を強化し、世界に向けて安定供給を実現
 ■生産品目
 電磁波シールドフィルム、導電性ボンディングフィルム



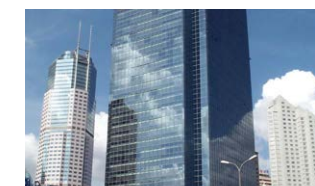
中国電線工業株式会社
 世界各地で使用できるグローバルスタンダードケーブルを始め幅広い製品を提供
 ■生産品目
 機器用電線



タツタ立井電線株式会社
 一貫生産体制・優れた生産技術・品質管理体制を活かし、お客様のニーズにカスタム対応
 ■生産品目
 機器用電線



常州拓自达怡依納電線有限公司
 タツタ初の海外製造拠点として、中国常州市にて日本品質の製品を提供
 ■生産品目
 機器用電線



上海拓自达商貿有限公司
 成長著しい中国市場における製品拡販、マーケティング、顧客対応の拠点として、タツタ電線のグローバル展開を支えています



**上海拓自达商貿有限公司
蘇州テクニカルセンター**
 機能性フィルムに関する各種試験・分析機器を備え、中国での顧客へのスピーディーな技術サービス提供に貢献しています



TATSUTA ELECTRONIC MATERIALS MALAYSIA SDN.BHD.
 アジアを中心に海外向けボンディングワイヤを製造、販売
 ■生産品目
 ボンディングワイヤ



Tatsuta USA, Inc.
 シリコンバレーにてイノベーションをキャッチアップする拠点として、タツタ電線の開発情報を収集し、販売パートナーを支えています

沿革

1945年	設立	2002年	大阪地区ISO14001認証取得 建設・電販向け電線販売事業を行う 住電日立ケーブル株式会社(現 住電HSTケーブル株式会社)設立に参画
1947年	電線製造・販売開始(創業)	2003年	電磁波シールドフィルム自社生産開始
1950年	タツタバルブ株式会社(現 中国電線工業株式会社)設立	2011年	常州拓自达怡依納電線有限公司(中国)設立
1953年	若江工場(現 大阪工場)完成	2012年	TATSUTA ELECTRONIC MATERIALS MALAYSIA SDN.BHD. (マレーシア)設立
1954年	大阪証券取引所上場	2013年	タツタテクニカルセンター完成 大阪証券取引所上場廃止(東京証券取引所への現物市場統合)
1955年	通信ケーブル製造・販売開始	2014年	立井電線株式会社株式取得
1961年	東京証券取引所上場	2015年	Tatsuta USA, Inc.(米国)設立 システム・エレクトロニクス事業本部にて医療機器分野の ISO13485認証取得 仙台工場完成
1975年	株式会社スリーティー・サービス (現 タツタウェルフェアサービス株式会社)設立	2016年	上海拓自达商貿有限公司(中国)設立 機能性フィルム事業にてISO22301(事業継続マネジメントシステム) 認証取得 第三種医療機器製造販売業許可を取得
1976年	福知山工場(現 京都工場)完成	2019年	「高力銅合金」を使用した機器用電線関連製品の製造販売事業を 完全子会社の立井電線株式会社に移管
1979年	株式会社タツタ電線分析センター (現 株式会社タツタ環境分析センター)設立	2022年	立井電線株式会社の商号をタツタ立井電線株式会社に変更 完全子会社のタツタ立井電線株式会社および中国電線工業株式会社の 原材料調達機能および営業・販売機能をタツタ電線株式会社に移管
1981年	漏水検知システム製造・販売開始		
1984年	ボンディングワイヤ製造・販売開始		
1987年	ポリマー型銅導電ペースト製造・販売開始		
1989年	高力銅合金線(FA等向け)製造・販売開始		
1996年	通信事業部ISO9001認証取得		
1997年	光ファイバケーブルの製造・販売開始		
1998年	電線事業部ISO9001認証取得		
1999年	通信事業部ISO14001認証取得		
2000年	電磁波シールドフィルム販売開始		
2001年	光部品事業部ISO9001認証取得		

タツタ電線株式会社
Tatsuta Electric Wire & Cable Co., Ltd.

本書の記載内容は
2022年7月1日現在のものです。
2207.2.000

